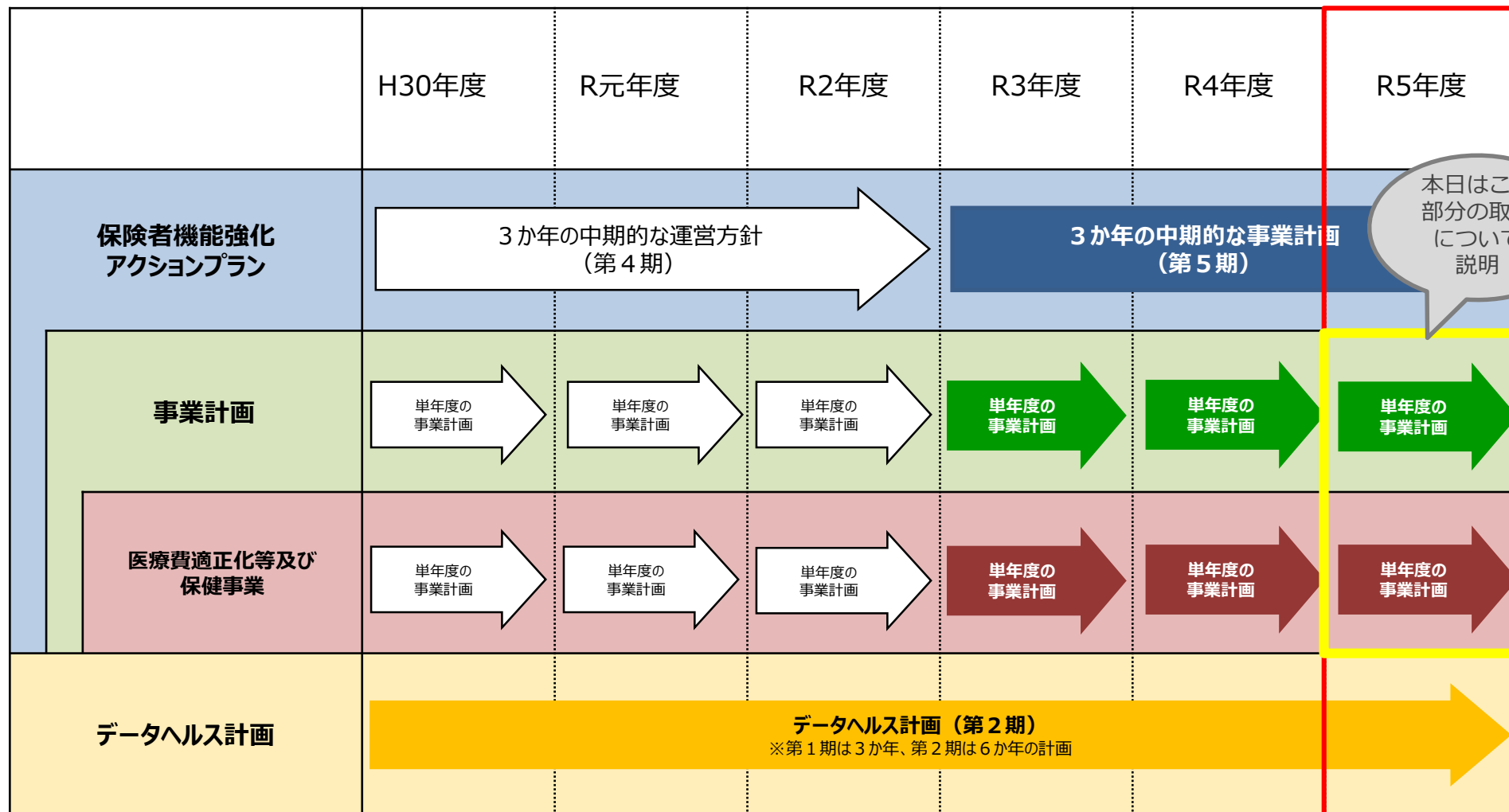


## 令和5年度 宮城支部事業計画及び保険者機能強化予算策定について

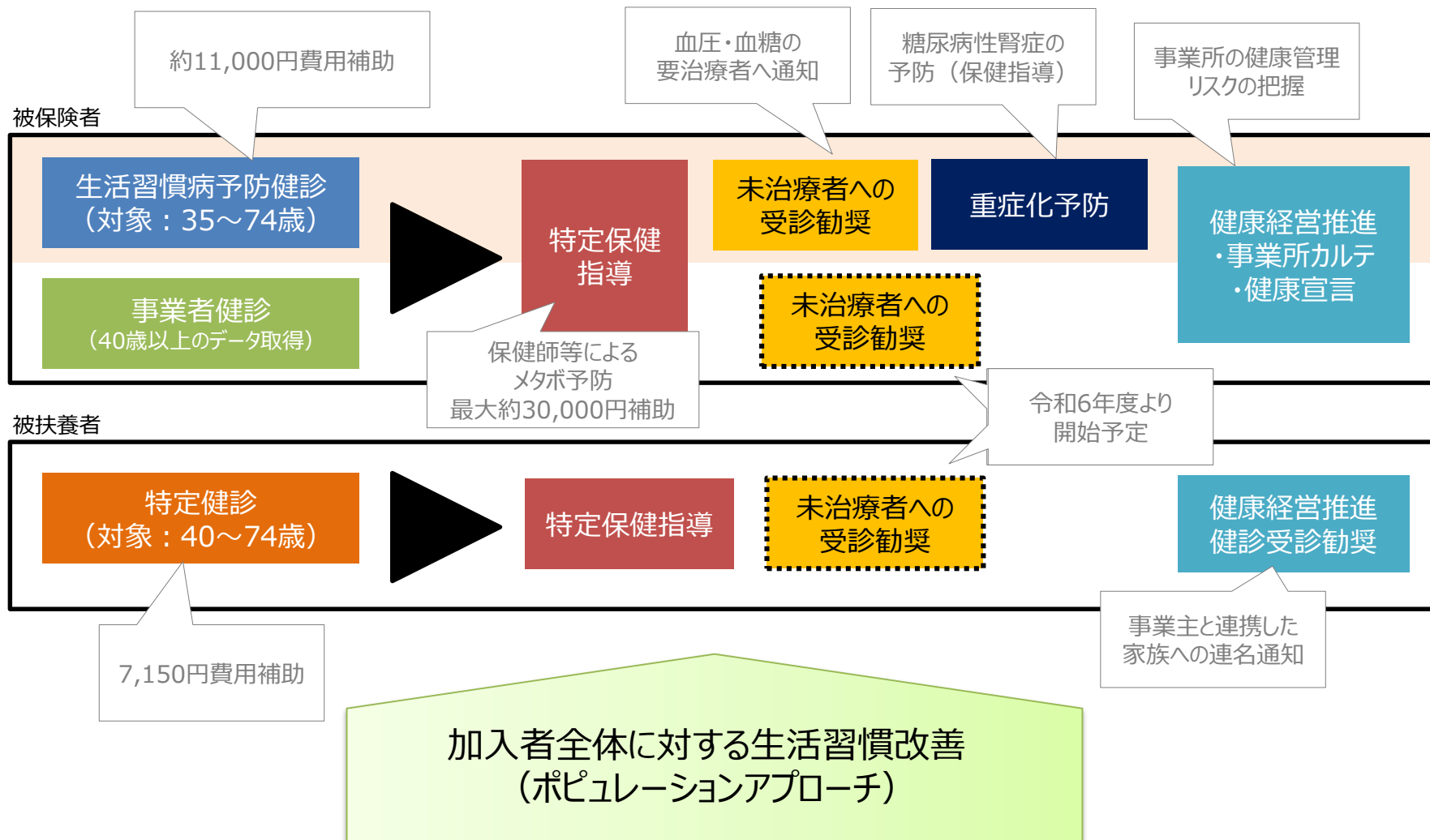
---

- |                          |       |      |
|--------------------------|-------|------|
| 1. 各種計画の全体像等             | ..... | 1ページ |
| 2. 第2期データヘルス計画に係る保健事業の展開 | ..... | 2ページ |
| 3. 各種データから判明した課題と重点施策    | ..... | 3ページ |

# 1. 各種計画の全体像



## 2. 第2期データヘルス計画に係る保健事業の展開



### 3. 各種データから判明した課題と重点施策

#### (1) 宮城支部の循環器系疾患（脳血管疾患、心疾患等）の一人当たり入院医療費が全国平均を上回るについて

##### ① 課題

- 宮城支部医療給付費への影響度の高い循環器系疾患において、年齢調整を行った上で**一人当たり入院医療費を業態別に順位付けすると、「1位：総合工事業」「2位：職別工事業」「3位：道路貨物運送業」「4位：その他運輸業」「5位：その他の対事業所サービス業」となる。**（参考資料P4）
- 宮城支部と全国の生活習慣病リスク(※)保有者割合を比べると、全ての項目で**男女ともに全国平均を上回る。**（参考資料P5）
- 宮城支部の生活習慣病リスク保有者割合を業態別に順位付けすると、参考資料P6の通りとなる。  
仮に、それぞれ、“1位を5点”、“2位を4点”、“3位を3点”、“4位を2点”、“5位を1点”とし、**総合得点でさらに順位付けを**  
**すると、「1位：運輸業（23点）」「2位：道路貨物運送業（21点）」「3位：総合工事業（19点）」となる。**
- 宮城支部の生活習慣病リスク保有者について、全国平均を0とした場合の差を指数化し色分けすると市町村ごとに差がみられるが、**生活習慣病リスク保有者数は、仙台市が圧倒的に多い。**（参考資料P7～12）

※生活習慣病リスク・・・「メタボリスク」、「メタボ予備群」、「血圧リスク」、「脂質リスク」、「代謝リスク」、「喫煙習慣」

### 3. 各種データから判明した課題と重点施策

#### ② これまでの取組

- ▶ 平成30年度から第2期データヘルス計画をスタートし、目標達成に向けて、特定健診、特定保健指導、重症化予防事業やコラボヘルス事業（健康経営の推進）の取組を実施している。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
特定健診	被保険者受診率	67.1%	71.7%	69.6%	69.6%	71.4%	71.5%	72.8%
	被扶養者受診率	30.2%	31.4%	32.2%	32.4%	32.9%	26.1%	31.1%
特定保健指導	指導実施率 (被保険者・被扶養者計)	15.5%	12.8%	17.7%	25.8%	27.2%	22.7%	24.5%
重症化予防	勧奨対象者のうちの 医療機関受診者割合	8.0%	9.4%	10.3%	9.1%	10.3%	10.1%	13.2%
コラボヘルス (健康経営の推進)	職場健康づくり宣言（事業所数）	-	-	1,274	1,566	1,776	1,943	2,066
	職場健康づくり宣言（カバー率）	-	-	16.2%	18.2%	20.8%	21.9%	24.6%
	健康優良法人認定事業所	-	-	9	39	82	157	249

- ▶ 運輸・運送業の関係団体(宮城県タクシー協会・宮城県トラック協会・宮城県バス協会)

と連携の上、11月から12月にかけて健康づくりに関するWEBアンケートを実施する。

アンケート結果は、事業所毎に集計した上で希望する事業所への送付や、関係団体が主催する会議やセミナー等で説明し、関係団体と協力・連携して職場の健康づくりを推進する。

#### 【アンケート内容】

《事業主様向け》テーマ：自社の健康経営の取組状況 ※設問数約10問

《従業員様向け》テーマ：生活習慣（食事・運動・歯・タバコ）※設問数約30問

→ 事業主様用チラシ（イメージ）



→ 従業員様用チラシ（イメージ）



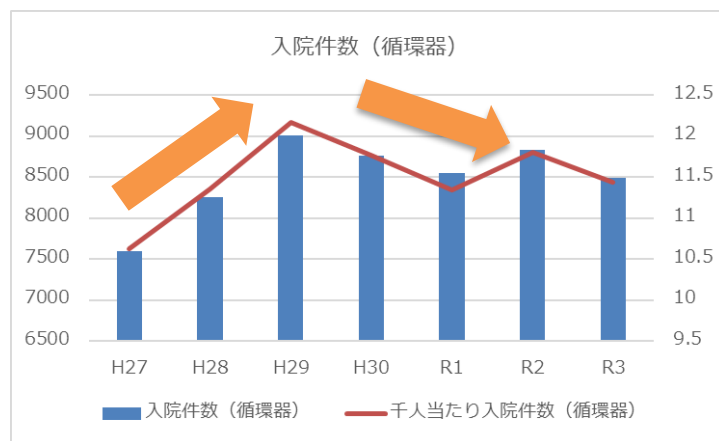
### 3. 各種データから判明した課題と重点施策

#### ③ これまでの取組の評価

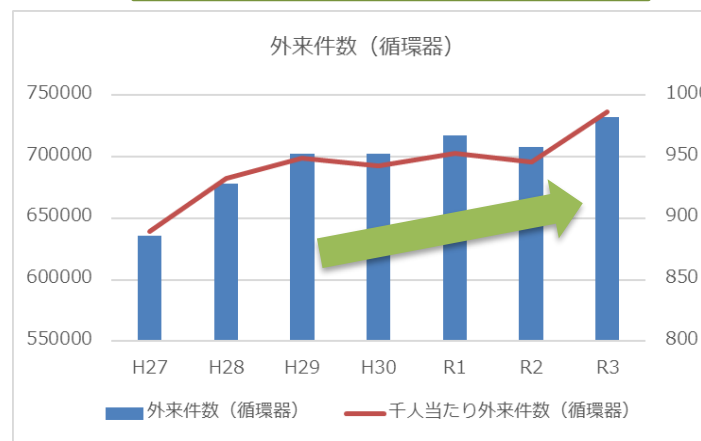
- 循環器系疾患による千人当たり入院件数は、データヘルス計画策定時の平成27年度と比べ減少していないものの、平成29年度を境に減少傾向である。
- 循環器系疾患による千人当たり外来件数は、平成27年度以降年々増加している。要因として高齢化の影響も考えられるが、基礎疾患の治療は着実に進んでいることも考えられる。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	(R9年度目標)
千人当たり入院件数	10.6	11.4	12.2	11.8	11.3	11.8	11.4	(10.6以下)
千人当たり外来件数	889.4	932.3	949.2	942.3	952.8	946.0	986.3	-

入院件数（循環器系疾患）



外来件数（循環器系疾患）

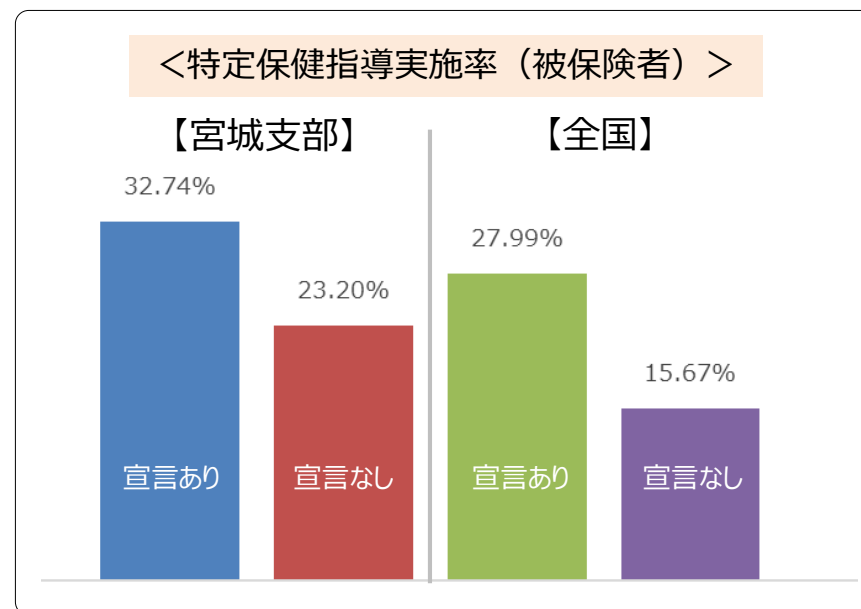
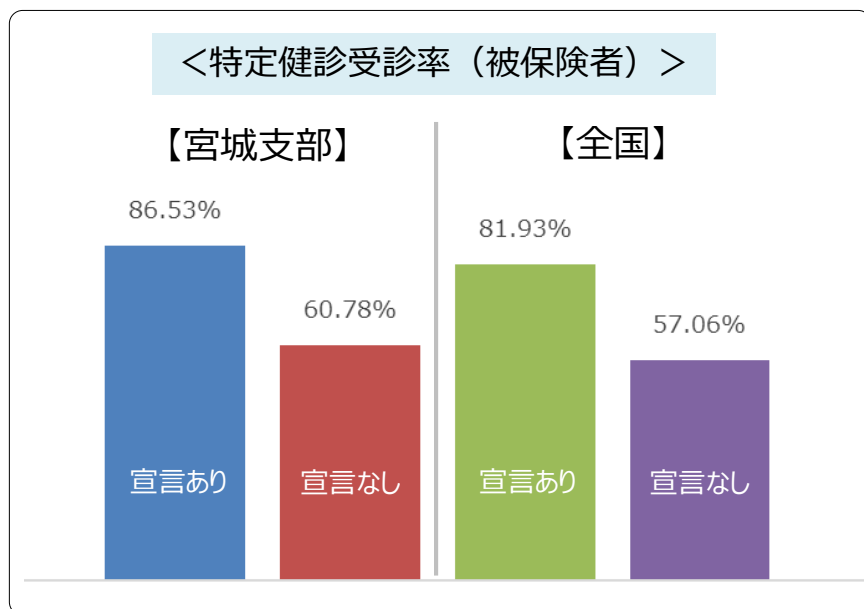


### 3. 各種データから判明した課題と重点施策

➤ 収縮期血圧、メタボ該当者割合は、ともに平成27年度と比べ数値が悪化しているものの、令和3年度で改善傾向がみられる。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	(R5年度目標)
収縮期血圧 (mmHg)	男性	128.3	128.9	129.5	129.3	129.3	130.5	129.8	(127.3以下)
	女性	122.0	122.2	122.5	122.5	122.4	123.8	123.2	(121.0以下)
メタボ該当者 及び予備群	男性	42.5%	42.7%	39.1%	43.4%	44.8%	46.2%	46.0%	(42.5%以下)
	女性	12.2%	12.3%	12.3%	13.2%	13.8%	14.1%	14.3%	(12.2%以下)

➤ 令和3年度の職場健康づくり宣言事業所の特定健診受診率や特定保健指導実施率は、宣言なしの事業所より高い。宮城支部の場合、特定健診受診率は25.7ポイント高く、特定保健指導実施率は9.5ポイント高い。



### 3. 各種データから判明した課題と重点施策

#### ④ 今後の重点施策

【全国一律の取組】

▶ LDLコレステロール値に着目した受診勧奨（令和4年度から実施）

現役世代の循環器疾患の重症化予防対策として、LDLコレステロール値に着目した受診勧奨を実施する。

▶ 重症化予防対策の充実（令和6年度から実施）

被扶養者及び協会が事業者健診結果データを取得した者を対象として、高血圧等に係る未治療者に対する受診勧奨を実施する。

▶ 健診・保健指導の充実・強化

○ 生活習慣病予防健診（一般健診）の自己負担の軽減（令和5年度から実施）

健診実施率の向上のため、現在38%の一般健診の自己負担について、総合健保組合の水準を参考に28%に軽減する。

現在自己負担30%の生活習慣病予防健診の乳がん検診・子宮頸がん検診のほか、肝炎ウイルス検査についても自己負担を28%に軽減する。

○ 付加健診の対象年齢拡大及び自己負担の軽減（対象年齢拡大は令和6年度から、自己負担軽減は令和5年度から実施）

疾病の早期発見等の目的、健保組合の実施状況、定年延長の状況等を踏まえ、現在50%の付加健診の自己負担について、28%に軽減するとともに、対象年齢を現行の「40歳、50歳」から「40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳」とする。

なお、健診内容については、国の特定健康診査等基本指針の見直しの動向（令和4年度中に取りまとめ）を踏まえることとしている。



### 3. 各種データから判明した課題と重点施策

---

#### 【宮城支部の取組(案)】

##### ➤ 健診受診勧奨の強化

自己負担額の変更(従来:7,169円→5,282円)等に伴い、事業所に対する周知を徹底し事業者健診から生活習慣病予防健診への切替を促進する。

また、健診機関数を拡大し受診環境を改善する。

##### ➤ 特定保健指導の当日実施施設の拡大

健診機関による健診当日の特定保健指導が可能となるよう、実施拡大に向けた健診機関への情報提供、研修会等の実施や報奨金制度を活用する。

##### ➤ 職場健康づくり宣言事業所の拡大

運輸業、運送業及び各種工事業の関係団体との連携を深め、これらの業態の事業所に対して職場健康づくり宣言の勧奨を重点的に実施する。健康経営の普及を図ることで、健診、特定保健指導や重症化予防の取組に繋げる。

##### ➤ 健康づくりに関するアンケートの拡大

令和4年度に実施する運輸・運送業の事業主及び従業員に対するアンケート結果を踏まえ、各種工事業の事業所に対するアンケート調査の実施を検討する。

### 3. 各種データから判明した課題と重点施策

#### (2) 宮城支部の肺がん（気管、気管支及び肺の悪性新生物）の一人当たり入院医療費が全国平均を上回ることについて

肺の悪性新生物について、協会けんぽとして取り組める対策としては、事業者健診から生活習慣病予防健診への切り替え（胸部レントゲン検査が含まれるため）や喫煙対策事業などがあげられる。

##### ① 課題

- 宮城支部医療給付費への影響度の高い肺の悪性新生物において、年齢調整を行った上で一人当たり入院医療費を業態別に順位付けすると、「1位：その他の対事業所サービス業」「2位：総合工事業」「3位：その他の運業」「4位：道路貨物運送業」「5位：設備工事業」となる。（参考資料P4）
- 宮城支部と全国の喫煙習慣がある者の割合を比べると、男女ともに全国平均を上回る。（参考資料P5）
- 宮城支部の喫煙習慣がある者の割合を業態別に順位付けすると、「1位：職別工事業」「2位：道路貨物運送業」「3位：廃棄物処理業」「4位：総合工事業」「5位：設備工事業」となる。（参考資料P6）
- 宮城支部の喫煙習慣がある者の割合について、全国平均を0とした場合の差を指数化し色分けすると市町村ごとに差がみられるが、喫煙者数は、仙台市が圧倒的に多い。（参考資料P7～12）

##### ② これまでの取組

- 平成30年度から第2期データヘルス計画をスタートし、加入事業所を通じた禁煙啓発や受動喫煙防止対策を実施している。併せて、令和3年度、4年度は個人に対する禁煙勧奨やアンケートを実施している。

##### 【以前から継続実施している取組】

- ・職場健康づくり宣言で禁煙・受動喫煙防止に関する取組みを実施・・・のべ1,523事業所（令和4年6月末時点）
- ・受動喫煙防止宣言施設登録事業所（宮城県、仙台市と共同で実施）・・・530事業所、945施設（令和4年9月末時点）
- ・禁煙に関するポスターの提供、禁煙に関する啓発DVDの無料貸し出し等

# 3. 各種データから判明した課題と重点施策

## 【令和3年度に新たに実施した取組】

- ・喫煙者に対する「禁煙勧奨通知」の送付・・・職場健康づくり宣言事業所に務めている喫煙している対象者数12,757人 (令和3年9月～10月実施)

## 【令和4年度に新たに実施した取組】

- ・上記「禁煙勧奨通知」対象者に対する「タバコのWEBアンケート」の実施・・・対象者数11,596人 (令和4年9月実施)
- アンケート結果は集計作業中。

喫煙の有害性や具体的な禁煙方法などをわかりやすく掲載

**低い方**

- 1 新たに人数を減らしたりせずにスッパリと禁煙しよう。
- 2 手元にはタバコを残さないようにしよう。

**ニコチン依存度**

ニコチン依存度はタバコを吸った回数や吸った量によって決まります。ニコチン依存度は、タバコを吸った回数や吸った量によって決まります。ニコチン依存度は、タバコを吸った回数や吸った量によって決まります。

**高い方**

- ・ニコチン依存度が高い方は、医療機関での禁煙の指導のもとに禁煙治療を受けることが大切です。
- ・ニコチン依存度の高い方は、禁煙治療を受けることが大切です。
- ・オンラインで禁煙治療を受けることができる医療機関もあります。

### 喫煙仲間が語る「説」は本当か?

- 1 タバコを吸うとリラックスできる説**  
ニコチン不足の症状から解放されているだけ。タバコを吸った後は、ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。
- 2 タバコをやめずに長生きした人もいます**  
長生きした人もいますが、健康な状態で長生きしていません。タバコを吸った後は、ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。
- 3 ベランダ喫煙で受動喫煙を防ぐことができる説**  
タバコは470種類以上の化学物質、70種類の発がん性物質がある。タバコを吸った後は、ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。
- 4 受動喫煙の害は大したことない説**  
国立がんセンターの研究では受動喫煙によるがんのリスクは1.3倍と発表されています。タバコを吸った後は、ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。
- 5 軽いタバコや加熱式タバコ・電子タバコなら大丈夫説**  
本数が増えたら同じこと、無意識に深く吸う危険性も。タバコを吸った後は、ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。ニコチン不足の症状から解放されているだけ。
- 6 タバコを吸うと数秒でニコチンが脳まで到達し、脳と結合してドパミン(快楽物質)が放出されます。しかし、しばらくするとドパミンとニコチンが消失するためイライラが生じてきてしまいます。**
- 7 結論 タバコを吸う人の約7割が「ニコチン依存症」と言われます。**

まず、あなたのニコチン依存状態をチェックしよう!

質問	0点	1点	2点	3点
1 朝起きてから何分くらいで最初のタバコを吸いますか?	0分以内	1分	2分	3分以内
2 喫煙が禁じられている場所でタバコを吸うことが難しいと感じますか?	いいえ	はい		
3 1日の中でどの時間帯のタバコを吸うのが最も多くなりますか?	右記以外	朝の1本		
4 1日何本吸いますか?	10本以下	11-20本	21-30本	31本以上
5 目覚めて2-3時間以内の方がその後の時間より頻りにタバコを吸いますか?	いいえ	はい		
6 あなは、病気でほんごー日中寝ている時でも、タバコを吸いますか?	いいえ	はい		

裏面で禁煙アクション! 0-2低い 3-6中 7-10高い

依存度に合わせて禁煙アクションははじめませんか?

NPO法人禁煙みやぎ理事長 山本先生から監修をいただき作成

### WEBアンケートご協力をお願い

ご協力いただいた方にオリジナルお菓子ギフト(タブレット)をプレゼント!

協会けんぽ宮城支部では、加入者へタバコに関するアンケート調査を実施しています。皆さまのご意見を今後の事業に活用してまいりますので、ご協力をお願いします。

プレゼント応募番号

抽選で500名様限定!

PCの方は、以下のURLを直接入力してください。  
[https://merumaga.kyoukaikenpo.or.jp/webapp/form/16486\\_cky\\_5/index.do](https://merumaga.kyoukaikenpo.or.jp/webapp/form/16486_cky_5/index.do)

スマートフォンの方は

QRコードを読み込んでWEBサイトへ。アンケートが表示されます。

アンケートにかかる時間は3分程度です

全国健康保険協会 宮城支部 890-8561  
 宮城県仙台市青葉区国分町 3-6-1 仙台パークビル 8階  
 企画総務グループ TEL: 022-714-6851

### 3. 各種データから判明した課題と重点施策

#### ③ これまでの取組の評価

- 宮城支部の喫煙習慣がある者の割合は順調に毎年度低下しているものの、宮城支部と全国平均の差を比較すると、平成27年度に比べ、令和3年度の差は拡大している。

男性：平成27年度4.7ポイント→令和3年度5.3ポイント

女性：平成27年度0.8ポイント→令和3年度1.6ポイント

			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
喫煙習慣のある者の割合	宮城	男性	47.7%	47.5%	47.4%	47.0%	46.8%	46.2%	45.5%
		女性	17.6%	18.4%	18.5%	17.5%	17.4%	17.0%	16.7%
	全国	男性	43.0%	42.6%	42.5%	41.9%	41.6%	40.7%	40.2%
		女性	16.8%	16.7%	16.3%	16.1%	15.8%	15.2%	15.1%

#### ④ 今後の重点施策(案)

- 喫煙者に対する「禁煙勸奨通知」の送付対象の拡大

令和3年度に送付していない、運送業、各種工事業の喫煙者や仙台市内在住の喫煙者に対して実施する。

また、通知対象者に対してWEBアンケートを実施し、効果を検証する。

- 受動喫煙防止宣言施設登録事業所（宮城県、仙台市と共同で実施）の拡大

運送業、各種工事業の事業所や仙台市内の事業所に対して施設登録勸奨を重点的に実施し、職場内での受動喫煙防止を図る。